

会議概要附属機関等の名称 安曇野市上下水道事業経営審議会

- 1 会議名 令和4年度 第1回 安曇野市上下水道事業経営審議会
- 2 日時 令和4年6月23日(木) 午後2時から午後3時30分まで
- 3 会場 本庁舎 会議室306
- 4 出席者 保尊委員、大江委員、土肥委員、猿田委員、加々美委員、中村委員、  
二木委員、臼井委員、黒岩委員
- 5 市側出席者 堀内上下水道部長、丸山経営管理課長、中田上水道課長、山越下水道課長  
中田下水道課長補佐、二木下水道担当係長、豊田管理係長、重野維持係長  
中嶋庶務担当係長、青嶋庶務担当係長
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和4年7月6日

協議事項等

○会議の概要

- 1 開 会
- 2 新任委員への委嘱書交付
- 3 会長挨拶
- 4 自己紹介（委員及び事務局自己紹介）
- 5 議事
  - (1) 水道ビジョンの事業評価報告について
  - (2) 水道ビジョン改定について
    - ・改定の方向性についての説明
    - ・今後の日程
  - (3) 水道料金収入等に係る後年度予想推移について
  - (4) その他
- 6 閉会

○議事の概要

- (1) 水道ビジョンの事業評価報告について  
(資料に沿って事務局から説明)

< 質疑 >

委員：有収率が下がっているということは、大きい配水管が漏水しているのではないか。

上水道施設へのテロのようなことも考えておかなければならないのではないか。

事務局：R3の有収率が上がっていない要因として考えられるのは、三郷小倉地区であった火災で消火栓を使ったことにより水が濁ってしまったため多くの水を排出したこと、仮設管設置工事で発熱や凍結を防ぐために水を使用したこと等ではないかと思われるが、水量を量ったわけではないのではっきりした原因は不明である。

テロについては、今後考えていく必要はあると思われる。

委員：危機管理にテロのようなものは入ってくるのか。  
事務局：基本的には囲いをして簡単に入らないようにするとか。  
委員：監視とか他者が入れないような体制づくりもしていかなければならないのではないか。このような世の中なので、今後は頭の隅に置いておいたほうがよいのではないか。  
委員：耐震化について、送水管か配水管どちらを重点に行うのか。  
明科地域については、過疎債が活用できる事業があるのか。  
事務局：過疎債については使える内容はあると思う。これから予定している潮沢系施設再構築に充てられるのではないかと考える。  
管についてはどちらを優先ではなく、配水池から主要給水施設までと配水池までのルートについても行っている、どちらをとというわけではなく両方合わせて対応している。  
委員：特にわたしの区では、水源地から配水池までの送水管が今年も破裂し、毎年1・2回は破裂している。送水管の老朽化がどの程度進んでいるのか。  
事務局：使われている部材による数値はあるが、管路によっての統計はない。  
委員：そのようなことが、度々発生しているということであれば、早めにチェックして対応していかなければならないのではないか。  
委員：何度か現場に立ち会っているが、漏れている所を修理しても、また違った所から漏れるといった話が住民からある。  
委員：漏水管の計画的な更新方法を情報収集して新たに考えていかなければならない。  
事務局：単に布設替していくだけではなく、もっと科学的に漏水が発生するであろう場所を予見できる技術があって、そこを替えていくことができればよいと思っている。今のやり方を変えていく必要はあると思う。  
委員：豊科西側の水の濁り対策として、濁度計やろ過装置を設置したがそれは十分に機能しているのか。まだまだ不十分なのか。  
管の汚れ対策を以前とったはずであるがどうなっているのか。  
雷対応はどうなっているのか。  
職員数（特に技術職）は足りているのか。  
委員：今の質問内容は、コロナで中止になった3月の審議会の際に受付けた質問である。事務局でまとめていると思うが、今回答えるかどうか。  
事務局：次回の審議会に対応したい。  
委員：有収率が2年ほど低下しているが、目標達成できるのか。しっかりした計画づくりをしてほしい。  
委員：有収率が低下している原因が漏水によるものなのか、原因をはっきりさせるといいと思う。  
委員：有収率は四半期ごとくらいに出せないのか。  
事務局：2か月に1度出している数字はあるが正確なものではない。  
委員：自治体によっては、漏水率を出しているところもあるが可能か。  
事務局：洗管や消火栓等のメーターで量っていない水量があるので、本来の意味での漏水率を出せない。

(2) 水道ビジョン改定について

- ・改定の方向性について
- ・今後の日程

(資料に沿って事務局から説明)

< 質疑 >

委員：水源地の買い占めについて入れてほしい。

委員：諮問の際の説明と合っているのか。それを整理したものがこの改定の方向性でいいのか。今後、委員の意見を聞く中でビジョンの改定に反映させると方向性も多少変わってくると思うがそういうことでいいか。

事務局：事務局の足りない部分を委員の皆さんが指摘し、提案いただくことが審議会なのでそういった認識でお願いしたい。

(3) 水道料金収入等に係る後年度予想推移について  
(資料に沿って事務局から説明)

<質疑>

委員：人口は下水道経営戦略や総合計画と整合させてあるとのことだが、その他の要因として産業用があると思うが、そういったものとの整合はいかがか。

事務局：この数値に産業用の反映はしていない。反映するかも含め検討し、今後回答したい。

(4) その他

委員：今のビジョンとの変更点がわかる資料を次回用意してほしい。

委員：管路の管理については先ほど説明いただいたが、施設の管理についてはいかがか。

事務局：建物に関しても管路と同じで耐用年数が経過し厳しい状況、R2施設台帳の整備を行い必要性について積上げを行ったのでそれを参考に計画的な更新をしていく。

以上